

計画の基本方向	主な取組	実績・計画指標	評価	今後の取組																																										
市民のヘルスリテラシー(健康教養)の向上	<p>○ヘルスリテラシー(健康教養)向上への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 市医師会と共催による健康教室の実施 保健師・栄養士による健康講座の実施 <p><主な内容></p> <p>母子保健分野 (マタニティセミナー、思春期健康教室 子どもの健康、食育等)</p> <p>成人保健分野 (生活習慣病予防、心の健康、たばこ、女性の健康、バランス食、高血圧予防等)</p> <p>・元気都市あおもり健康アップ推進会議における健康づくり普及啓発活動 あおもり健康トライアルの実践講座 市民健康アップフォーラム等</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康講座等健康教育総参加者数(人)</td> <td>11,516</td> <td>11,974</td> <td>16,108</td> <td>27,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在</p> <p>↓ ↓ ↓</p> <p>・母子保健における健康教育参加者数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>(H27.2.28現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て健康相談事業</td> <td>4,646</td> <td>4,408</td> <td>3,956</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マタニティセミナー</td> <td>541</td> <td>470</td> <td>580</td> <td></td> </tr> <tr> <td>思春期健康教室</td> <td>2,440</td> <td>2,653</td> <td>4,278</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・成人保健における健康教育参加者数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師・薬剤師による健康教育</td> <td>375</td> <td>469</td> <td>336</td> </tr> <tr> <td>保健師・栄養士による健康教育</td> <td>3,514</td> <td>3,974</td> <td>6,958</td> </tr> </tbody> </table>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	健康講座等健康教育総参加者数(人)	11,516	11,974	16,108	27,000		H24	H25	H26	(H27.2.28現在)	子育て健康相談事業	4,646	4,408	3,956		マタニティセミナー	541	470	580		思春期健康教室	2,440	2,653	4,278			H24	H25	H26	医師・薬剤師による健康教育	375	469	336	保健師・栄養士による健康教育	3,514	3,974	6,958	<p>○健康講座等健康教育の総参加者数は、平成26年度大幅に増加している。理由として、小学校からの依頼による思春期健康教室が増加したこと、また、市民総ぐるみの健康づくり運動の推進により、運動・食等の健康づくりの実践や啓発機会が増加したこと、地域から健康アップに向けた健康講座の依頼が増加したこと、市民の健康づくりの実践報告を行う健康アップフォーラムを開催したこと等によるものであり、これまでよりも多くの市民へ健康教養向上への支援がなされた。</p> <p>○しかし、成人保健における健康教育において、働き盛り世代への健康教育機会は少なく、働き盛り世代の生活習慣病予防と健康アップに向け、これまで以上に企業や事業所等と連携した健康教育の取組が必要である。</p>	<p>○働き盛り世代の生活習慣病の予防と健康アップに向け、企業・事業所等職域における健康づくりの取組を促進するため、「各種がん検診」や「歯周疾患検診」、「たばこ」、「こころ」、「運動・食」等をテーマに、各職場のニーズに応じ、保健師・栄養士が講座に出向く、職域向けの出前健康講座をメニュー化し、企業・事業所へのPRを行い、活用を促していく。</p>
	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																									
健康講座等健康教育総参加者数(人)	11,516	11,974	16,108	27,000																																										
	H24	H25	H26	(H27.2.28現在)																																										
子育て健康相談事業	4,646	4,408	3,956																																											
マタニティセミナー	541	470	580																																											
思春期健康教室	2,440	2,653	4,278																																											
	H24	H25	H26																																											
医師・薬剤師による健康教育	375	469	336																																											
保健師・栄養士による健康教育	3,514	3,974	6,958																																											
<p>○人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくりリーダーの育成 健康づくりサポーターの育成 	<p style="text-align: right;">*数値は累計</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康づくりサポーター数(人)</td> <td></td> <td>72</td> <td>120</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>健康づくりリーダー数(人)</td> <td></td> <td></td> <td>40</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在</p> <p>・健康づくりサポーター育成研修会: 全3回、2会場で実施 修了者48人</p> <p>・健康づくりリーダー育成ゼミ: 前期・後期プログラム 全8回 修了者40人 活動ミーティングの開催 1回</p>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	健康づくりサポーター数(人)		72	120	300	健康づくりリーダー数(人)			40	150	<p>○健康づくりサポーターは、平成25年度は全市対象で1会場、26年度は中央部、西部の地域を対象に2会場で実施し、身近な地域で受講できる開催とした。平成25年度育成サポーターは、自ら実践することや、地域の健康祭りで市の短命の現状を伝えたり、所属する組織の中で学んだことを伝える等、取り組んでいる。</p> <p>○健康づくりリーダーの育成では、平成25年度に育成した健康づくりサポーター72名のうち25名が、ステップアップし受講している。次年度には職域にもリーダー受講を呼びかけることを想定し、後期プログラムにおいて、職域へのプレ参加を呼び掛けた。</p> <p>○今後、育成した健康づくりリーダーが地域で主体的に活動できるような支援が必要である。</p>	<p>○健康づくりサポーターは、全市域に育成することを目指し、平成27年度も引き続き、地域レベルを対象に2会場で育成研修会を開催していく。</p> <p>○健康づくりリーダーも同様に、全市域に育成することを目指すことから、健康づくりリーダーのいない地域へ、受講を呼びかけていくとともに、企業・事業所からの受講も対象としていく。</p> <p>○健康づくりリーダー受講者の活動ミーティングにより、地域の健康講座等の開催ができるよう、保健師・栄養士による地域保健活動による支援や、地域の既存組織との連携を支援していく。</p>																												
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																										
健康づくりサポーター数(人)		72	120	300																																										
健康づくりリーダー数(人)			40	150																																										
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	<p>○がんの発症予防と早期発見</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種がん検診の実施及び受診勧奨 各種がん要精密検査の受診勧奨 国の「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」に基づき、過去の子宮がん、乳がん検診無料クーポン券未利用者への無料クーポン券の再交付 国の「がん検診推進事業」に基づき、国が定める特定の年齢に達した方に大腸がん検診無料クーポン券の交付 集団健(検)診の電話による申込受付 協会けんぽと連携した、職域へのPR 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん検診受診率(%)</td> <td>21.1</td> <td>21.0</td> <td>17.9</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診受診率(%)</td> <td>9.1</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診受診率(%)</td> <td>36.0</td> <td>36.0</td> <td>31.7</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診受診率(%)</td> <td>27.1</td> <td>25.2</td> <td>—</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診受診率(%)</td> <td>26.1</td> <td>23.9</td> <td>—</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.1.31現在</p>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	胃がん検診受診率(%)	21.1	21.0	17.9	40.0	肺がん検診受診率(%)	9.1	10.0	10.0	40.0	大腸がん検診受診率(%)	36.0	36.0	31.7	40.0	乳がん検診受診率(%)	27.1	25.2	—	50.0	子宮がん検診受診率(%)	26.1	23.9	—	50.0	<p>○肺がん検診では、健康づくりイベントや市民が足を運ぶショッピングセンター等の実施会場を増やし、キャッチアップによる受診勧奨等により受診率が上向しているが、他のがん検診と比較し、受診率は依然低い。がんによる死亡の第1位は肺がんであることから、受診率向上に向け、実施体制を検討していくことが必要である。</p> <p>○大腸がん検診は、無料クーポン券送付やコールリコールにより受診率が安定しているが、同様の事業対象である乳がん、子宮がんは低下傾向、また、胃がんは横ばいとなっていることから、市民総ぐるみでのがん検診受診への運動が必要である。</p>	<p>○肺がん検診受診率の向上に向け、集団検診の実施回数や地域の巡回検診の実施場所、個別検診における実施の可能性等、関係機関と検討していく。</p> <p>○50歳代以降に男性のがんによる死亡数が多くなり、特に、前立腺がんは、50歳代以降の男性において罹患率が高くなることから、がんへの関心高めていくことを目的に、50歳の男性を対象に、新たに前立腺がん検診を実施する。</p> <p>○市民総ぐるみで、がん検診受診を呼びかけていくため、これまで各種健(検)診の受診勧奨を活動の一つとしていた、浪岡地区保健協力員の他、健康づくりリーダーや健康づくりサポーター、地域の健康づくり団体等においても、身近な場から、がん検診受診の呼びかけに取り組んでもらう。</p>												
	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																									
胃がん検診受診率(%)	21.1	21.0	17.9	40.0																																										
肺がん検診受診率(%)	9.1	10.0	10.0	40.0																																										
大腸がん検診受診率(%)	36.0	36.0	31.7	40.0																																										
乳がん検診受診率(%)	27.1	25.2	—	50.0																																										
子宮がん検診受診率(%)	26.1	23.9	—	50.0																																										
<p>○がんの重症化予防</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関や健診機関と連携した精密検査受診勧奨 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん検診精密検査受診率(%)</td> <td>80.8</td> <td>78.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診精密検査受診率(%)</td> <td>85.3</td> <td>71.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診精密検査受診率(%)</td> <td>73.1</td> <td>74.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診精密検査受診率(%)</td> <td>92.0</td> <td>82.8</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診精密検査受診率(%)</td> <td>73.3</td> <td>81.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※精密検査の受診状況は、翌年度末の調べとなる。</p>	計画の指標	H23	H24	H25	H26	目標値H32	胃がん検診精密検査受診率(%)	80.8	78.2	—	—	100	肺がん検診精密検査受診率(%)	85.3	71.0	—	—	100	大腸がん検診精密検査受診率(%)	73.1	74.6	—	—	100	乳がん検診精密検査受診率(%)	92.0	82.8	—	—	100	子宮がん検診精密検査受診率(%)	73.3	81.5	—	—	100	<p>○各種がん検診の要精密検査者の受診率は、本人への確認や医療機関からの精密検査結果報告により確認がとれたものである。すべての要精密検査者に対しては、電話、通知等によりコンタクトをとっているが、不在、不明により本人と話ができず、受診状況が未把握の状況となっていることから、受診確認をさらに徹底することが必要である。</p>	<p>○協会けんぽとの連携の他、元気都市あおもり健康アップ推進会議職域健康づくり部会の活動等とも連携し、職場で検診を受ける機会のない方や被扶養者へ検診受診を呼びかけていく。</p> <p>○各種がん検診の要精密検査者について、健診センター及び医療機関との連携を密にし、夜間等も含め、本人とのコンタクトを図るよう努め、受診勧奨と受診確認の徹底を図る。</p>							
計画の指標	H23	H24	H25	H26	目標値H32																																									
胃がん検診精密検査受診率(%)	80.8	78.2	—	—	100																																									
肺がん検診精密検査受診率(%)	85.3	71.0	—	—	100																																									
大腸がん検診精密検査受診率(%)	73.1	74.6	—	—	100																																									
乳がん検診精密検査受診率(%)	92.0	82.8	—	—	100																																									
子宮がん検診精密検査受診率(%)	73.3	81.5	—	—	100																																									

計画の基本方向	主な取組	実績・計画指標	評価	今後の取組																															
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	<p>○循環器疾患、糖尿病等の発症予防</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病等の成人健康教育の実施 特定健康診査、若年健康診査(30歳～39歳)健康診査の実施 集団健診結果説明会による健診結果に応じた保健指導、継続受診の勧奨 特定保健指導対象者への利用勧奨及び特定保健指導の実施 特定保健指導実施者を対象とした継続指導「すこやかアップ講座」の実施 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壮年期健康教育</td> <td>3,889</td> <td>4,443</td> <td>7,294</td> </tr> <tr> <td>結果説明会における保健指導者数(人)</td> <td></td> <td></td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>すこやかアップ講座参加者数(人)</td> <td>257</td> <td>230</td> <td>220</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健康診査受診率(%)</td> <td>33.9</td> <td>37.1</td> <td>29.5</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導を受けた方の割合(%)</td> <td>25.9</td> <td>32.5</td> <td>45.1</td> <td>60.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目標値年度をH29としているのは、第二期青森市特定健康診査等実施計画により既に決定された数値であるため</p> <p>※H26の特定健診受診率はH27.2.25現在 ※H26の特定保健指導を受けた方の割合(%)は、初回面接実施率</p>		H24	H25	H26	壮年期健康教育	3,889	4,443	7,294	結果説明会における保健指導者数(人)			116	すこやかアップ講座参加者数(人)	257	230	220	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H29	特定健康診査受診率(%)	33.9	37.1	29.5	60.0	特定保健指導を受けた方の割合(%)	25.9	32.5	45.1	60.0	<p>○市民総ぐるみの健康づくり運動と連動した健康教育の機会の増加により、市民が生活習慣改善に取り組むことができるよう、循環器疾患、糖尿病等をはじめとする生活習慣病の発症予防への啓発が進んだ。</p> <p>○特定健康診査については、電話での申し込み受付やタイミングを捉えたきめ細かな受診勧奨が功を奏し、受診率の向上が図られている。</p> <p>○特定保健指導については、集団健診実施会場においては、受診者すべてを対象とした結果説明会により、自分の結果を理解し、生活習慣病の発症予防につなげるとともに、その場でタイムリーに特定保健指導を実施する等により、実施率の向上が図られている。しかし、目標値を目指した実施率としては依然低く、引き続き実施率向上に向け取り組んでいく必要がある。</p>	<p>○わかりやすい受診案内や各種がん検診とセットにした受診勧奨、保健協力員、健康づくりリーダー、健康づくりサポーター、地域の健康づくり団体等とも連携し、さらなる受診勧奨に努める。</p> <p>○今後も引き続き、集団健診結果説明の機会を利用して、受診者に対する生活習慣病予防に向けたアドバイスや特定保健指導の実施、継続受診の必要性について、周知啓発を図る。</p> <p>○特定保健指導を受けた方が、運動・食等の生活習慣改善行動を継続できるよう、引き続きフォローアップの場として「すこやかアップ講座」を実施し、小集団の心的交流による効果を引き出しながら、運動・食等の生活習慣の定着を支援する。</p>
		H24	H25	H26																															
	壮年期健康教育	3,889	4,443	7,294																															
結果説明会における保健指導者数(人)			116																																
すこやかアップ講座参加者数(人)	257	230	220																																
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H29																															
特定健康診査受診率(%)	33.9	37.1	29.5	60.0																															
特定保健指導を受けた方の割合(%)	25.9	32.5	45.1	60.0																															
<p>○循環器疾患、糖尿病等の重症化予防</p> <ul style="list-style-type: none"> 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」(阪大研究)に基づく、重症化予防の保健指導の実施 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合(%)</td> <td>28.8</td> <td>29.6</td> <td>—</td> <td>20.7</td> </tr> <tr> <td>脂質異常症の割合(%)</td> <td>12.9</td> <td>12.9</td> <td>10.9</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>空腹時血糖110mg/dl以上の割合(%)</td> <td>16.1</td> <td>16.9</td> <td>15.1</td> <td>11.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH26.11.30現在</p>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合(%)	28.8	29.6	—	20.7	脂質異常症の割合(%)	12.9	12.9	10.9	9.3	空腹時血糖110mg/dl以上の割合(%)	16.1	16.9	15.1	11.6	<p>○メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合は上昇しており、特に、40歳代の男性のBMI、腹囲、中性脂肪、コレステロール等の異常値の割合は他の年代よりも割合が多い。</p> <p>○平成26年度から、「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」(阪大研究)の一環として、特定健康診査の結果、高血圧や脂質異常、高血糖など、受診が必要な方を早期に医療へつなげ、重症化を予防するための保健指導を実施しているが、この成果を把握できるのは、平成27年度となる。</p>	<p>○若い世代のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の方を減らし、生活習慣病へ移行しないよう、特定健康診査を受診した方に、「運動」「食事」について、今の生活の中に取り入れることが可能な、有益な情報提供を行う。</p> <p>○また、特定保健指導においては、「メタボ・禁煙・口腔の健康・食事・運動」をセットとした指導を実施するとともに、特に40歳代男性をターゲットとして、積極的支援の指導実施率を高めていく。</p> <p>○重症化予防のための保健指導に引き続き取り組む。</p>												
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																															
メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合(%)	28.8	29.6	—	20.7																															
脂質異常症の割合(%)	12.9	12.9	10.9	9.3																															
空腹時血糖110mg/dl以上の割合(%)	16.1	16.9	15.1	11.6																															
<p>○血圧コントロールの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健師、栄養士による血圧講座の開催 重症化予防の保健指導として高血圧者への訪問指導の実施 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血圧講座受講者数(人)</td> <td></td> <td></td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26から実施、実績はH27.3.20現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高血圧の割合(%)</td> <td>24.7</td> <td>24.5</td> <td>24.8</td> <td>17.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH26.11.30現在</p>		H24	H25	H26	血圧講座受講者数(人)			70	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	高血圧の割合(%)	24.7	24.5	24.8	17.8	<p>○平成26年度に実施した保健師・栄養士による血圧講座では、特定健康診査の結果、血圧が高めの方への参加も勧奨したが、高血圧の方には結果説明会や個別の保健指導も実施していることから、血圧講座の対象者を明確にしていく必要がある。</p>	<p>○市民が血圧への関心を持ち、自ら血圧管理ができるよう、健康づくりリーダーやサポーターとともに、市民同士で血圧について知識と技術を学びあえる血圧講座を、保健師・栄養士が支援していく。</p>														
	H24	H25	H26																																
血圧講座受講者数(人)			70																																
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																															
高血圧の割合(%)	24.7	24.5	24.8	17.8																															

計画の基本方向	主な取組	実績・計画指標	評価	今後の取組																																																																							
生涯を通じて健康であるための生活習慣づくり	<p>栄養・食生活</p> <p>○健康な食習慣の確立 ・妊婦保健指導や妊婦訪問指導、マタニティセミナー時の保健相談による栄養指導や体重コントロールの指導 ・乳幼児健診の集団指導や産婦・新生児訪問指導における栄養指導や発育に関する指導</p> <p>○人材の育成とバランスの取れた食の普及啓発 ・食生活改善推進員の継続的な育成と主体的活動への支援 ・保健師・栄養士による食に関する健康講座の開催 ・食生活改善推進員会と連携した地域の健康講座の開催</p> <p>○市民が食生活改善に取り組みやすい環境づくり ・飲食店に対する健康づくり応援店の周知と登録への推奨</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食生活改善推進員養成数(人)</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>保健師・栄養士による食に関する健康講座</td> <td>18回 412人</td> <td>17回 358人</td> <td>26回 745人</td> </tr> <tr> <td>食生活改善推進員と連携した健康講座</td> <td>0</td> <td>3回 131人</td> <td>8回 545人</td> </tr> <tr> <td>健康づくり応援店登録推進事業案内数(人)</td> <td></td> <td></td> <td>274</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦保健指導・妊婦訪問指導(人)</td> <td>2,054</td> <td>2,106</td> <td>1,862</td> </tr> <tr> <td>マタニティセミナー1講座(人)</td> <td>73</td> <td>55</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>乳幼児健診(人)</td> <td>6,285</td> <td>6,129</td> <td>5,498</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合(%)</td> <td>74.8</td> <td></td> <td></td> <td>91.8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20～60歳代男性の肥満者の割合(%)</td> <td>30.4</td> <td></td> <td></td> <td>21.9</td> </tr> <tr> <td>40～60歳代女性の肥満者の割合(%)</td> <td>17.9</td> <td></td> <td></td> <td>12.9</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康づくり応援店舗数</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26から実施、実績はH27.3.20現在</p>		H24	H25	H26	食生活改善推進員養成数(人)	18	18	13	保健師・栄養士による食に関する健康講座	18回 412人	17回 358人	26回 745人	食生活改善推進員と連携した健康講座	0	3回 131人	8回 545人	健康づくり応援店登録推進事業案内数(人)			274		H24	H25	H26	妊婦保健指導・妊婦訪問指導(人)	2,054	2,106	1,862	マタニティセミナー1講座(人)	73	55	54	乳幼児健診(人)	6,285	6,129	5,498	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合(%)	74.8			91.8	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	20～60歳代男性の肥満者の割合(%)	30.4			21.9	40～60歳代女性の肥満者の割合(%)	17.9			12.9	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	健康づくり応援店舗数			4	350	<p>○市民総ぐるみの健康づくり運動と連動し、保健師・栄養士による食に関する健康講座や、食からの健康づくりを推進する食生活改善推進員会と連携した地域の健康講座等の開催により、健康な食習慣やバランスのとれた食の普及啓発を広げることができた。</p> <p>○これらの普及啓発により、栄養バランスに配慮した食生活を送っている市民の割合や肥満者の割合等が変化しているかについては、市民意識調査により把握していく必要がある。</p> <p>○飲食店の健康づくり応援店登録推進事業は、平成26年9月から実施しているが、登録店舗数が少なく、周知が行き渡っていない。県が実施している栄養成分表示事業との連携を図り、周知を広げていく必要がある。</p>	<p>○食生活改善推進員の養成については、平成27年度は、浪岡地域の会場で実施し、地域の人材養成の拡大を図るとともに、引き続き、食生活改善推進員会と連携し、子どもの食育やバランスの取れた食の普及啓発、実践の伝達を行っていく。</p> <p>○また、市民総ぐるみの健康づくり運動として、引き続き、子どもから大人まで、野菜摂取や減塩等の啓発を進める。</p> <p>○職場のニーズに対応した、保健師・栄養士による職域を対象とした出前健康講座において、メニューの中に食に関するテーマも取り入れ、働き盛り世代に対する適正体重の維持への普及啓発を進める。</p> <p>○市民意識調査の中で、栄養バランスに配慮した食生活を送っている市民の割合や肥満者の割合を把握できるよう、担当課との調整を図る。</p> <p>○健康づくり応援店については、県が実施している栄養成分表示事業に登録している市内の飲食店について、市の健康づくり応援店としての登録を呼びかけていくため、県と連携を図るとともに、中小企業や商店街等の取組を所管する担当部署とも連携し、PRを行い、登録について呼びかけていく。</p>
		H24	H25	H26																																																																							
食生活改善推進員養成数(人)	18	18	13																																																																								
保健師・栄養士による食に関する健康講座	18回 412人	17回 358人	26回 745人																																																																								
食生活改善推進員と連携した健康講座	0	3回 131人	8回 545人																																																																								
健康づくり応援店登録推進事業案内数(人)			274																																																																								
	H24	H25	H26																																																																								
妊婦保健指導・妊婦訪問指導(人)	2,054	2,106	1,862																																																																								
マタニティセミナー1講座(人)	73	55	54																																																																								
乳幼児健診(人)	6,285	6,129	5,498																																																																								
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																																																							
栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合(%)	74.8			91.8																																																																							
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																																																							
20～60歳代男性の肥満者の割合(%)	30.4			21.9																																																																							
40～60歳代女性の肥満者の割合(%)	17.9			12.9																																																																							
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																																																							
健康づくり応援店舗数			4	350																																																																							
身体活動・運動の	<p>○身体活動・運動に取り組む習慣づくり ・健康教育の機会等を通じた運動の必要性についての普及啓発</p> <p>○運動に取り組める環境の整備 ・健康度測定により、一人一人の健康度に応じた運動プログラムを作成し、運動習慣の継続を支援する「健康度測定総合指導事業」の実施、及び施設内のコース等を利用する「のびのびウォーキング事業」の実施 ・市民総ぐるみの健康づくり運動の一環として、市民が身近な場で運動等健康づくりに親しみ、運動習慣づくり等のきっかけとする「あおり健康トライアル」の実施</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康度測定総合指導事業利用者(人)</td> <td>33,661</td> <td>36,849</td> <td>35,253</td> </tr> <tr> <td>のびのびウォーキング事業利用者数(人)</td> <td>10,561</td> <td>11,357</td> <td>10,215</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動習慣者の割合(%)</td> <td>23.6</td> <td></td> <td></td> <td>33.6</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あおり健康トライアル参加者数</td> <td></td> <td></td> <td>1,208</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学5年生男子の肥満傾向児の割合(%)</td> <td>15.4</td> <td>14.3</td> <td>13.4</td> <td>15.1</td> </tr> <tr> <td>小学5年生女子の肥満傾向児の割合(%)</td> <td>9.3</td> <td>11.3</td> <td>8.5</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在 ※目標値年度をH27としているのは、「青森市教育振興基本計画」においてすでに設定されている指標であるため</p>		H24	H25	H26	健康度測定総合指導事業利用者(人)	33,661	36,849	35,253	のびのびウォーキング事業利用者数(人)	10,561	11,357	10,215	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	運動習慣者の割合(%)	23.6			33.6		H24	H25	H26	あおり健康トライアル参加者数			1,208	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H27	小学5年生男子の肥満傾向児の割合(%)	15.4	14.3	13.4	15.1	小学5年生女子の肥満傾向児の割合(%)	9.3	11.3	8.5	9.0	<p>○健康度測定総合指導事業及びのびのびウォーキング事業の利用者が増加傾向にある中、市民総ぐるみの健康づくり運動の一環として、運動・食等の推進活動として実施した「あおり健康トライアル」には、延1,208人が参加し、運動の場づくりや運動の機会づくりを支援することができた。</p> <p>○これらの取組により、市民の運動習慣者の割合が増加しているかについては、市民意識調査により把握していく必要がある。</p> <p>○平成25年度まで増加傾向にあった本市の肥満傾向児の割合が、平成26年度では減少する兆しが見られる。市民総ぐるみの健康づくり運動においても、子どもたちも広く参加できる取組等を実施し、肥満予防に資する実践を広げていく必要がある。</p>	<p>○子どもから高齢者まで、楽しく気軽に運動に取り組めるよう、きっかけとなる機会として、「あおり健康トライアル」を拡大するとともに、健康づくりリーダーやサポーター等による、人と人のつながりを通じた、市民主体の健康づくりや運動習慣の機会づくりを支援していく。</p> <p>○市民意識調査の中で、運動習慣のある市民の割合を把握できるよう、担当課との調整を図る。</p>																										
		H24	H25	H26																																																																							
健康度測定総合指導事業利用者(人)	33,661	36,849	35,253																																																																								
のびのびウォーキング事業利用者数(人)	10,561	11,357	10,215																																																																								
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																																																							
運動習慣者の割合(%)	23.6			33.6																																																																							
	H24	H25	H26																																																																								
あおり健康トライアル参加者数			1,208																																																																								
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H27																																																																							
小学5年生男子の肥満傾向児の割合(%)	15.4	14.3	13.4	15.1																																																																							
小学5年生女子の肥満傾向児の割合(%)	9.3	11.3	8.5	9.0																																																																							

計画の基本方向	主な取組	実績・計画指標	評価	今後の取組																																																											
生涯を通じて健康であるための生活習慣づくり	<p>○良質で十分な睡眠と休養についての普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 「健康づくりのための睡眠指針2014」を活用した休養の重要性に関する情報提供や健康教育等の実施 <p>○休養を大切にする社会環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の健康づくりに関する健康教育の他、健康づくりのための人材育成のプログラムとしても実施 	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>睡眠による休養を十分にとれていない市民の割合(%)</td> <td>20.5</td> <td></td> <td></td> <td>15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・こころの健康づくりに関する健康教育開催状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壮年期健康教育</td> <td>12回 381人</td> <td>11回 371人</td> <td>3回 41人</td> </tr> <tr> <td>健康づくりリーダー育成ゼミ</td> <td></td> <td></td> <td>1回 32人</td> </tr> <tr> <td>健康づくりサポーター育成研修会</td> <td></td> <td>1回 66人</td> <td>2回 48人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在</p>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	睡眠による休養を十分にとれていない市民の割合(%)	20.5			15.0		H24	H25	H26	壮年期健康教育	12回 381人	11回 371人	3回 41人	健康づくりリーダー育成ゼミ			1回 32人	健康づくりサポーター育成研修会		1回 66人	2回 48人	<p>○こころの健康づくりと関連させながら、「健康づくりのための睡眠指針2014」を活用した休養の必要性や重要性についての情報提供、啓発を行うとともに、健康づくりのための人材育成のプログラムにおいても、休養の重要性について啓発を図った。</p> <p>○市民の睡眠による休養を十分にとれていない市民の割合の変化については、市民意識調査により把握することが必要である。</p>	<p>○職場のニーズに対応した、保健師・栄養士による職域を対象とした出前健康講座において、メニューの中に休養に関するテーマも取り入れ、働き盛り世代に対する睡眠と休養の重要性について、心の健康づくりと併せ啓発を図る。</p> <p>○市民意識調査の中で、睡眠による休養を十分にとれていない市民の割合を把握できるよう、担当課との調整を図る。</p>																																	
	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																																										
	睡眠による休養を十分にとれていない市民の割合(%)	20.5			15.0																																																										
	H24	H25	H26																																																												
壮年期健康教育	12回 381人	11回 371人	3回 41人																																																												
健康づくりリーダー育成ゼミ			1回 32人																																																												
健康づくりサポーター育成研修会		1回 66人	2回 48人																																																												
<p>○過度の飲酒による健康への悪影響に対する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康教育や保健指導等を通じた、過度の飲酒による健康への影響や適正飲酒の啓発、飲酒習慣に関する生活習慣改善への支援 <p>○未成年者や妊婦の飲酒を防止する社会環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出時の飲酒習慣のある妊婦への保健指導や思春期健康教室等を通じた未成年者への飲酒の健康が健康に及ぼす影響への正しい知識の普及 	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊娠届出時に飲酒の習慣がある妊婦に対する指導数(人)</td> <td>103</td> <td>82</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊娠中の飲酒の割合(%)</td> <td>5.1</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合(%)</td> <td>25.8</td> <td>27.0</td> <td>—</td> <td>21.9</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合(%)</td> <td>14.6</td> <td>15.3</td> <td>—</td> <td>12.4</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	妊娠届出時に飲酒の習慣がある妊婦に対する指導数(人)	103	82	74	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	妊娠中の飲酒の割合(%)	5.1	4.0	4.0	0	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合(%)	25.8	27.0	—	21.9	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合(%)	14.6	15.3	—	12.4	<p>○妊娠届出時に飲酒習慣のある妊婦への保健指導や飲酒による胎児への健康影響等に関する情報提供等により、妊娠中の飲酒者の割合は減少している。</p> <p>○40歳以上の特定健康診査受診者における飲酒習慣では、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している割合が男女とも増加傾向にあり、健診の機会を捉えた情報提供や保健指導が必要である。</p>	<p>○特定健康診査を受診した方へ、「運動」「食事」についての情報提供を図る上で、適正飲酒と健康に影響を及ぼす飲酒量に関する情報を提供し、結果説明会や特定保健指導等を通じて、飲酒についての個別指導を実施していく。</p>																																
	H24	H25	H26																																																												
妊娠届出時に飲酒の習慣がある妊婦に対する指導数(人)	103	82	74																																																												
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																																											
妊娠中の飲酒の割合(%)	5.1	4.0	4.0	0																																																											
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合(%)	25.8	27.0	—	21.9																																																											
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合(%)	14.6	15.3	—	12.4																																																											
喫煙	たばこの健康被害防止対策については、「青森市たばこの健康被害防止対策における取組の評価」を参照																																																														
<p>○生涯を通じた歯・口腔の健康づくり</p> <p><妊婦及び小児期></p> <ul style="list-style-type: none"> 食べる力の土台となる歯と口腔の健康に関する歯科保健指導、歯科健康教育の実施 歯科健康診査を通じた歯予防、歯みがき習慣確立の健康教育 1歳6か月から3歳までの幼児を対象としたフッ化物の塗布(1人4回) 保育園、幼稚園等へのむし歯予防週間における啓発 <p><成人期・高齢期></p> <ul style="list-style-type: none"> 歯、口腔の健康をテーマとした健康教室 高齢期における咀嚼機能と誤嚥防止への教育 <p>○生活習慣病予防のための歯周病対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患検診の実施とハガキによる受診勧奨 8020運動の推進 	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦への歯科保健教育(マタニティセミナー)(人)</td> <td>73</td> <td>55</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>乳幼児の歯ミガキ相談における歯科保健指導数(人)</td> <td>156</td> <td>127</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>1歳6か月児健診における歯科健康教育数(人)</td> <td>2,158</td> <td>2,066</td> <td>1,789</td> </tr> <tr> <td>3歳児健康診査における歯科健康教育数(人)</td> <td>2,153</td> <td>2,124</td> <td>1,927</td> </tr> <tr> <td>フッ素塗布受診者数(人)</td> <td>2,132</td> <td>2,592</td> <td>1,866</td> </tr> <tr> <td>親と子の良い歯のコンクールにおける歯科保健指導数(人)</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>障害児歯科健康診査における歯科保健指導数(人)</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>歯・口腔の健康教室参加者数(人)</td> <td>78</td> <td>89</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患受診者数</td> <td>1,392</td> <td>1,304</td> <td>1,039</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26は歯周疾患健診はH27.2.28現在、他はH27.3.20現在</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1歳6か月児で歯のない幼児の割合(%)</td> <td>97.3</td> <td>97.7</td> <td>97.9</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>3歳6か月児で歯のない幼児の割合(%)</td> <td>76.8</td> <td>77.4</td> <td>76.2</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患検診の受診率(%)</td> <td>8.3</td> <td>7.8</td> <td>6.2</td> <td>40.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1歳6か月児及び3歳6か月児で歯のない幼児の割合 H26はH27.2.28現在 ※歯周疾患検診の受診率のH26はH27.2.28現在</p>		H24	H25	H26	妊婦への歯科保健教育(マタニティセミナー)(人)	73	55	56	乳幼児の歯ミガキ相談における歯科保健指導数(人)	156	127	93	1歳6か月児健診における歯科健康教育数(人)	2,158	2,066	1,789	3歳児健康診査における歯科健康教育数(人)	2,153	2,124	1,927	フッ素塗布受診者数(人)	2,132	2,592	1,866	親と子の良い歯のコンクールにおける歯科保健指導数(人)	38	42	60	障害児歯科健康診査における歯科保健指導数(人)	29	25	21	歯・口腔の健康教室参加者数(人)	78	89	88	歯周疾患受診者数	1,392	1,304	1,039	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	1歳6か月児で歯のない幼児の割合(%)	97.3	97.7	97.9	100	3歳6か月児で歯のない幼児の割合(%)	76.8	77.4	76.2	90.0	歯周疾患検診の受診率(%)	8.3	7.8	6.2	40.0	<p>○妊婦から乳幼児期までは、母子保健活動を通じ、歯・口腔の健康づくりのための機会教育等がなされているが、青年期以降における機会教育の機会は少ない。</p> <p>子どもへの保健指導、教育機会を捉えた成人期である保護者の歯と口腔の健康への意識づけ、また、特定健康診査、特定保健指導の機会を捉えた口腔の健康からの生活習慣病予防、禁煙教育・禁煙相談と併せた口腔ケアへの意識づけ等、機会を捉え、すべての場面で口腔からの健康づくりの啓発を併せて実施していくことが必要である。</p> <p>○歯周疾患検診受診率は依然低く、ハガキによる通知ではなく、歯周疾患検診の必要性がわかる周知案内が必要である。</p>	<p>○妊娠期からの口腔の健康への意識づけを強化するため、マタニティセミナーで平日プログラムとしていた「妊娠中の歯のケア」を含む講座日について、年6回のうち2回を土曜特別セミナーとし、妊婦及び家族(夫)子育て期の保護者等を含め、広く「お口からの健康づくり」の啓発を実施する。</p> <p>○乳幼児健診及び子育て相談における歯科健康教育、歯科保健指導機会を捉え、成人期である保護者への歯周疾患と生活習慣病の関係等の啓発を図る。</p> <p>○1歳6か月児健康診査におけるフッ素塗布受診票交付時において、フッ素塗布をした児の3歳児健診時における歯の保有状況等、成果がわかる情報提供を行い、フッ素塗布4回受診完了を促す。また、フッ素塗布受診票交付者で未受診のものに対し、受診勧奨の徹底を図る。</p> <p>○特定健康診査、特定保健指導において、口腔の健康からの生活習慣病予防と歯周疾患検診受診を促す情報提供、保健指導を行う。</p> <p>○歯周疾患検診対象者に対しては、これまでのハガキによる通知から、歯周疾患と生活習慣病等、全身の健康との関連をわかりやすく表し、歯周疾患検診を受診することのメリットを伝える啓発チラシによる封書の検診受診勧奨を行い、受診率向上を図る。</p> <p>○職場のニーズに対応した、保健師・栄養士による職域を対象とした出前健康講座において、メニューの中に歯と口腔の健康に関するテーマも取り入れ、働き盛り世代に対する歯周疾患検診の啓発と受診勧奨を行う。</p>
	H24	H25	H26																																																												
妊婦への歯科保健教育(マタニティセミナー)(人)	73	55	56																																																												
乳幼児の歯ミガキ相談における歯科保健指導数(人)	156	127	93																																																												
1歳6か月児健診における歯科健康教育数(人)	2,158	2,066	1,789																																																												
3歳児健康診査における歯科健康教育数(人)	2,153	2,124	1,927																																																												
フッ素塗布受診者数(人)	2,132	2,592	1,866																																																												
親と子の良い歯のコンクールにおける歯科保健指導数(人)	38	42	60																																																												
障害児歯科健康診査における歯科保健指導数(人)	29	25	21																																																												
歯・口腔の健康教室参加者数(人)	78	89	88																																																												
歯周疾患受診者数	1,392	1,304	1,039																																																												
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																																																											
1歳6か月児で歯のない幼児の割合(%)	97.3	97.7	97.9	100																																																											
3歳6か月児で歯のない幼児の割合(%)	76.8	77.4	76.2	90.0																																																											
歯周疾患検診の受診率(%)	8.3	7.8	6.2	40.0																																																											

計画の基本方向	主な取組	実績・計画指標	評価	今後の取組																									
社会生活を営むために必要な心身の機能の維持・向上	子ども ○子どもの健やかな発育と健康的な生活習慣づくり ・母子健康手帳交付、妊婦保健指導、マタニティセミナーにおける保健指導 ・新生児訪問指導、乳幼児健康診査における保健指導、健康教育 ・低出生体重児への訪問指導と県立中央病院と連携した低出生体重児の保護者の交流会の開催 ・子育て団体等への食育や生活リズム等に関する情報提供や健康講座の実施 ・学校、PTAと連携した思春期健康教室等を通じた児童生徒への健康づくりのための正しい知識の普及	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全出生数中の低出生体重児(2,500g未満)の割合(%)</td> <td>10.5</td> <td>8.4</td> <td>—</td> <td>9.0未満</td> </tr> </tbody> </table>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	全出生数中の低出生体重児(2,500g未満)の割合(%)	10.5	8.4	—	9.0未満	○低出生体重児は、将来的に生活習慣病を引き起こしやすいことがいわれており、低出生体重児への健やかな発育、発達への支援を行っていく必要がある。 ○平成25年における全出生中の低出生体重児の割合は減少しているが、この割合をさらに引き下げていくことが必要である。 ○低出生体重児は、妊娠前の母親のやせや低栄養、妊娠中の体重増加の抑制、喫煙などがその要因といわれている中、本市の低出生体重児の要因を明らかにし、低体重児出生に対し、予防可能な取り組みを進める必要がある。	○妊産婦新生児訪問指導を通じ、低出生体重児の出生に繋がる生活要因等についてアンケート調査を実施して把握し、予防的取組に活かしていく。 ○子どもの頃からの肥満予防や生活習慣病予防について、子どもたちへの教育の必要性が、市民総ぐるみの健康づくり運動の中でも掲げられてきていることから、学校、PTA、地域の関係団体等と連携した、運動・食等の健康づくりの取組を進める。															
	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																								
	全出生数中の低出生体重児(2,500g未満)の割合(%)	10.5	8.4	—	9.0未満																								
高齢者 ○高齢になっても元気でいきいきと生活できる心身の機能の維持・向上 ・運動機能の維持向上、栄養改善、口腔機能の維持向上、認知症予防、うつ予防、閉じこもり予防、感染症予防等に関する知識の普及 ・ロコモティブシンドロームをテーマとした健康教育の実施	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を理解している市民の割合(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロコモティブシンドロームに関する健康教育</td> <td>1回 53人</td> <td>0</td> <td>2回 71人</td> </tr> </tbody> </table>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を理解している市民の割合(%)				80.0		H24	H25	H26	ロコモティブシンドロームに関する健康教育	1回 53人	0	2回 71人	○高齢期の健康づくりの指標となる、ロコモティブシンドロームを理解している市民の割合は、現状値を把握できていない状況にあることから、市民意識調査により把握する必要がある。 ○地域の健康づくりを牽引していく役割を担う健康づくりリーダー育成ゼミにおいては、健康教養の重要な要素の一つとして、ロコモティブシンドロームに関する講座と、実際に運動機能を測定する実践的演習を行った。	○市民意識調査の中で、ロコモティブシンドロームを理解している市民の割合を把握できるよう、担当課との調整を図る。 ○育成した健康づくりリーダーとともに、ロコモ予防も含め、地域の健康づくり学習等の場づくりを進めていく。								
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																									
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を理解している市民の割合(%)				80.0																									
	H24	H25	H26																										
ロコモティブシンドロームに関する健康教育	1回 53人	0	2回 71人																										
こころ ○心の健康を保つ知識の普及 ・地域や職域からの依頼に対応した「こころの健康づくり」に関する健康教育の実施 ・健康づくりのための人材育成におけるこころの健康づくりに関する教育の実施 ○うつ病予防、自殺予防の普及啓発	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自殺者の割合(人口10万人あたりの自殺による死亡率)</td> <td>21.6</td> <td>17.7</td> <td>—</td> <td>18.1</td> </tr> </tbody> </table> ・こころの健康づくりに関する健康教育開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壮年期健康教育</td> <td>12回 381人</td> <td>11回 371人</td> <td>3回 41人</td> </tr> <tr> <td>健康づくりリーダー育成ゼミ</td> <td></td> <td></td> <td>1回 32人</td> </tr> <tr> <td>健康づくりサポーター育成研修会</td> <td></td> <td>1回 66人</td> <td>2回 48人</td> </tr> </tbody> </table>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	自殺者の割合(人口10万人あたりの自殺による死亡率)	21.6	17.7	—	18.1		H24	H25	H26	壮年期健康教育	12回 381人	11回 371人	3回 41人	健康づくりリーダー育成ゼミ			1回 32人	健康づくりサポーター育成研修会		1回 66人	2回 48人	○自殺者の割合は平成25年度においても減少しており、全国との差も改善されている。 ○心の健康をテーマとした健康教育の実績は平成26年度は少なくなっているが、青森市の健康の現状を伝える講話の中では、自殺の現状等も伝え、その背景にあるといわれるうつ病の予防や心の健康を保つことの重要性について啓発を行っている。 ○健康づくりリーダー育成ゼミ、健康づくりサポーター育成研修会においては、「こころの健康づくり」を必須プログラムとし、地域の健康づくりの担い手としての重要な健康教養の一つとしている。	○職場のニーズに対応した、保健師・栄養士による職域を対象とした出前健康講座において、メニューの中に休養とあわせてこころの健康に関するテーマも取り入れ、働き盛り世代に対する啓発を図る。 ○地域における健康づくりリーダー、サポーターの活動を通じ、市民から市民へ、こころの健康に関心を持つことやストレスと上手に付き合うことなどへの理解を広げていく。
計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																									
自殺者の割合(人口10万人あたりの自殺による死亡率)	21.6	17.7	—	18.1																									
	H24	H25	H26																										
壮年期健康教育	12回 381人	11回 371人	3回 41人																										
健康づくりリーダー育成ゼミ			1回 32人																										
健康づくりサポーター育成研修会		1回 66人	2回 48人																										
自殺予防の取組については、「平成27年度青森市保健所の主な事務事業(案)」を参照																													

計画の基本方向	主な取組	実績・計画指標	評価	今後の取組																									
<p>地域における健康づくり運動の促進と健康を支えるための環境づくり</p>	<p>○市民が生活習慣改善に取り組みやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの健康づくり実践組織の活動支援 ・職域の健康づくり、地域における運動の場づくり、食育・食生活改善の推進等 <p>○地域、学校、企業、行政の連携による、社会全体で健康づくりに取り組む環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気都市あおもり健康アップ推進会議」による市民総ぐるみの健康づくり運動の推進 ・健康づくり運動を効果的に推進していくため、「人材育成」、「職域の健康づくり」「健康づくり普及啓発」、「運動・食等推進」の4つの観点からの活動の推進 	<table border="1" data-bbox="795 184 1605 275"> <thead> <tr> <th>計画の指標</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康づくり実践団体数(団体)</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26はH27.3.20現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気都市あおもり健康アップ推進会議の開催回数(平成26年度) <table border="1" data-bbox="825 369 1285 527"> <tbody> <tr> <td>総会</td> <td>1回</td> <td>(H26.5月)</td> </tr> <tr> <td>人材育成部会</td> <td>2回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職域健康づくり部会</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>健康づくり普及・啓発部会</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運動・食等推進部会</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※H27.3.20現在</p>	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32	健康づくり実践団体数(団体)	9	9	9	38	総会	1回	(H26.5月)	人材育成部会	2回		職域健康づくり部会	3回		健康づくり普及・啓発部会	3回		運動・食等推進部会	3回		<p>○市民総ぐるみの健康づくり運動の活動母体である「元気都市あおもり健康アップ推進会議」の4つの部会の実践により、地域の健康づくりの人材養成、地域の健康づくりの機運の醸成、職域における健康づくりの必要性への意識啓発、運動・食等具体活動の推進が図られた。</p> <p>○市民の寿命の延伸と健康アップを図るうえで、働き盛り世代の早世を予防することが重要であるが、企業・事業所等の主体的な健康づくりを促進していくためには、健康づくり運動の機運だけではなく、行政として、企業・事業所等の健康づくりを直接的に支援する取組も必要である。</p>	<p>○あおもり健康アップ実践企業認定制度の創設(新規事業)</p> <p>働き盛り世代の健康づくりを推進するため、職場の健康づくりに関する取組を実施している企業・団体等の事業所を募集し、一定の基準を満たしている場合、「あおもり健康アップ実践企業」として認定し、ホームページ等で企業名や取組内容を周知するとともに健康教育や保健指導等、事業所の健康づくりを支援する制度を実施する。</p> <p>○地域、学校、企業、行政が連携し、社会全体で健康づくりに取り組むために、「元気都市あおもり健康アップ推進会議」と連携し、4つの部会の取組の充実強化を図る。</p> <p>◆各部会の取組</p> <p>【人材育成部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成した健康づくりリーダーによる地域の健康講座等の開催やサポーターによる健康づくりの実践活動等を、保健師・栄養師の地域保健活動により支援し、市民から市民へ健康づくり活動の波及を図る。 <p>【職域健康づくり部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き盛り世代の健康アップに向け、企業・事業所が主体的に健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進め、職域からの健康づくり活動の推進を図る。 <p>【健康づくり普及・啓発部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、団体等が主体的に市民健康アップスローガンの実践に取り組みやすい環境づくりを進め、その取組を市民健康アップフォーラムの場で報告する等、市民・団体等の健康づくりの取組が広く市民へ伝わるよう、市民から市民への啓発を強化する。 <p>【運動・食等推進部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域において、市民が身近な場で楽しみながら運動・食等の健康づくりに取り組むことができるよう、あおもり健康トライアルや、やさいをたべてげんきもりの取組、また特に子どもたちが健康について楽しく学ぶことのできる場づくりを進めていく。 <p>○市民生活部で実施しているまちづくり構想推進事業と連携しながら、地域の健康づくりを推進する。</p>
	計画の指標	H24	H25	H26	目標値H32																								
健康づくり実践団体数(団体)	9	9	9	38																									
総会	1回	(H26.5月)																											
人材育成部会	2回																												
職域健康づくり部会	3回																												
健康づくり普及・啓発部会	3回																												
運動・食等推進部会	3回																												
<p>まとめ</p> <p>平成25年7月の全国市区町村別生命表の公表以降、平均寿命の延伸に向けた市民の関心の高まりが窺われ、各地域における健康講座の開催数や、健康づくりを伝える人材の育成数については順調に増加しています。一方、健(検)診の受診率や、精密検査受診率等においては改善が見られておりません。また、働き盛り世代における健康づくりの課題が依然として解決されておりません。このことから、今後一層のヘルスリテラシー(健康教養)の向上と、生活習慣の改善が必要です。以上のことから、平成27年度においては、人材育成の継続と、育成した人材による地域の健康づくり活動の支援、職域における健康づくりの推進を重点課題とした取組を強化します。なお、当計画は平成26年10月に策定したものであり、平成27年度以降においても、更なる市民総ぐるみの健康づくり運動の推進を図り、健康づくりの取組を評価しながら本計画を推進していきます。</p>																													